

2022 年度 日本老年薬学会 社員総会議事録

日時：2022 年 5 月 14 日（土）10:40～11:30

場所：web 開催（配信会場 名古屋国際会議場 第 1 会場）

出席 42 名

欠席 7 名

監事 片山 歳也

事務局 齋藤

I. 議長と総会開催要件の確認

上記のとおり出席及び委任状があり、定足数の過半数に達しているため、本会は適法に成立していることが報告され、代表理事 秋下 雅弘が議長となり、以下の議案の審議に入った。

議事に先立ち、本社員総会は Web 会議システムを用いた開催とし、Web 会議システムによる出席者の音声即時に他の出席者に伝達され、出席者が一堂に会するのと同様に適時適確な意思表示が相互にできる状態になっていることを確認した。

議事録署名人として、大井一弥副代表理事ならびに亀井美和子副代表理事が指名され、承諾した。

II. 審議・承認事項

第 1 号議案 2021 年度事業報告

議長の秋下代表理事より、2023 年度の実業報告が報告され、承認された。

第 2 号議案 2021 年度決算及び監査報告

2021 年度決算について、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録が山浦理事より報告され承認された。片山 歳也監事より 2021 年度決算について正當に処理されていることを認め監査を行ったことが報告され承認された。

第 3 号議案 2022 年度事業計画

2022 年度の実業計画について秋下代表理事より報告され承認された。

第 4 号議案 2022 年度予算

2022 年度予算について、山浦理事より説明され、異議なく承認された。

第 5 号議案 定款改定

運営事務局が、定款に記載の住所にある株式会社毎日学術フォーラムから、株式会社コン

ベンションリンクページに変更されたことが秋下代表理事から報告された。第 2 条の事務局所在地が変わったことより、記載の改定が必要になり、記載を改定することが承認された。

第 6 号議案 第 9 回学術大会大会長について

秋下代表理事より、副代表理事らと相談した結果、第 9 回の開催については、東京大学高齢社会総合研究機構の機構長である飯島 勝矢理事を理事会で推薦した結果承認されたことが説明され、飯島理事の第 9 回大会長の就任が承認された。

第 7 号議案 名誉会員の承認、辞任届について

秋下雅弘代表理事より、倉田なおみ理事、平井みどり理事、福島 紀子理事の 3 名に関しては定款細則第 2 条および第 4 条に該当することから、理事定年とともに名誉会員への就任が理事会で承認されたことが報告され、社員総会において承認された。

また、杉浦伸一理事より、辞任届が提出されたことがあわせて報告され、異議なく承認された。

第 8 号議案 理事の承認について

秋下雅弘代表理事より、阪井丘芳（大阪大学歯学系研究科）、柴田ゆうか（広島大学病院薬剤部）の 2 名の評議員については任期の途中ではあるが今後の業務において活躍が期待できることより、理事の補充として理事会で推薦が了承されたことが報告され、異議なく承認された。

第 9 号議案 新評議員の承認について

秋下雅弘代表理事より、

新井さやか（千葉大学医学部附属病院薬剤部）

岩田紘樹（慶應義塾大学薬学部）

小原 道子（帝京平成大学薬学部）

篠原久仁子（株式会社恵比寿ファーマシー）

高井 靖（医療法人 三重ハートセンター）

那須いずみ（虎の門病院 高齢者総合診療部・薬剤部）

林 直子（慶應義塾大学薬学部附属薬局）

茂木正樹（愛媛大学大学院医学系研究科）

の 8 名が、理事から評議員として推薦があったことより、学会への貢献や実績が評価されることが説明された。

以上の 8 名の評議員就任については異議なく承認された。

Ⅲ.報告事項

1) 第6回学術大会

第6回学術大会大会長大井一弥理事より、開催状況について報告された。参加人数が801名、教育講演16 シンポジウム10が予定されていることが報告された。

2) 第7回学術大会

第7回学術大会大会長の神村英利理事より、2023年5月20日(土)、21日(日)に、アクロス福岡にて現地開催を予定していること、ホームページが完成したことが報告された。

3) 第8回学術大会

第8回学術大会大会長亀井美和子理事より、2024年5月18日(土)、19日(日)に都市センターホテルで開催予定されていることが報告された。

4) 各委員会報告

教育研修委員会からは、事業報告にあった内容で活動していることが秋下代表理事より報告された。

広報委員会から、水上委員長より、1点目は、メディカルマスターズから動画配信サービスの活動を中止する連絡があり、それに伴い会員への動画配信サービスを停止するとともに、学会会員システム内からの配信に変更しことが報告された。2点目は、学会ホームページへのアクセス分析について資料報告された。

雑誌編集委員長大嶋理事より、学会雑誌への投稿数が減っていることが報告された。

今後の対策としては、学会発表者へアンケートをとり投稿数を増やしていく計画している。

また、投稿がなかったときの対策も検討していくことが報告された。従来年4回のペースで発刊できるよう、今後企画の要望や意見を回収していきたいことが報告された。

その他、秋下代表理事より、定期的なあり方委員会を発足し、理事会や学会の運営を円滑にはかれるよう報告があった。

本日予定の審議を終了したので、11時30分、議長は閉会を宣した。